

ているるちゃんがいく！

沖縄県男女共同参画センター「ているる」情報誌

Vol.65

2022.1



- 令和3年度ているる塾 公開講座
- 令和3年度DV対策事業
- 令和3年度ているる塾 県内女性リーダーに聞く！
- ているる図書情報室のご案内
- 事業報告
- ご案内／寄付のご報告

令和3年度ている塾 公開講座

「沖縄から世界へ グローバルエリートの生い立ちとキャリア」

講師 瀬名波 文野 氏

せなは あやの
瀬名波 文野 氏
株式会社リクルートホールディングス取締役兼常務執行役員兼COO



女性人材育成を目的とした全8回の「ている塾」4回目の講座として、瀬名波さんによる公開講座「沖縄から世界へグローバルエリートの生い立ちとキャリア」が沖縄県男女共同参画センター

「ている塾」ホールにて開催され、塾生と一般の方を合わせ85名の方々が受講されました。

瀬名波さんは、2006年にリクルートホールディングスに入社、経営企画室、HR領域での大手企業営業を経て、2012年にロンドンに赴任。2018年から、リクルートホールディングスの執行役員、2020年同社の取締役、2021年より取締役兼常務執行役員兼COOに就任されています。

日本では上場企業で女性が占める取締役の割合はわずか8%。日本の時価総額上位50社の中では最年少の取締役としてグローバルに活躍されています。

沖縄での幼少期時代のエピソードや、リクルートホールディングスでの仕事を通し、女性のキャリア形成や人生の気づきについて経験を踏まえながらお話しいただきました。

幼少期はごくごく普通の小学生でした。思い返すと、小学6年生の時、中学校受験を初めて知り「自分の世界じゃない世界」が外には広がっているらしいと思うきっかけとなりました。高校進学の際には、私立を受験したものの公立に行こうとしていた自分が受かり、仲が良かった友達が落ちてしまうという経験を通して「機会を与えてもらうのは、逆に誰かの機会を奪っていること。無駄にはいけない」ということに気づきました。

東京の大学を卒業後、就職。入社当時、描いていたキャリアプランは「3年、一生懸命働いて寿退社、専業主婦になる」でした。しかし、新人ながら色々な仕事に挑戦できる環境もあり、仕事にのめり込んでいきました。

その後、HR領域での営業経験を通して、グローバルの厳しい環境に自分も身を置いてみたいと思うようになり、応募条件を満たしてはいませんでしたが、買収直後のロンドンの人材派遣会社の駐在に立候補し単身ロンドンへ。しかし買収元から来た「20代のお姉ちゃん」は歓迎されず、情報もシェアしてくれない。何を提案しても暖簾に腕押し状態でした。自分で決めて来たけれど、フェアではない評価をされていると感じることもあり、日本の楽しい日々を置いて何をやっているんだろうと、落ち込むこともありました。ある日、悔しくて一晩中泣いて泣き疲れて寝てしまったんです。翌朝、起きたら

ごくお腹が空いて、何か食べようと外へ出たら、心地よい風が吹き、街路樹からは木漏れ日が差していて、ハツと冷静になる瞬間がありました。私の悩みはすごくちつぽけだな。どれだけ悩んでいようがお腹は空くし、『地球は回っている』。その時、もう一度素直に自分に力が足りないことを認め、一生懸命やってみようと前を向くことができました。

皆さんにお伝えできることが3つあります。その中の一つは、「モヤモヤに目を向けて『転機』をつくる」です。自分の中で、うまくいっている時でも、楽しくさらっと明るく終わらせないで「ん？」という違和感に目を向け、向き合うようにしてください。向き合うことで能力不足を感じることもあり、辛い時間になります。必ずそこに新しい展開があります。次に、人生の大切なことを人に決めさせてはいけない。失敗しても自分で決めたことだからこそ学べるものがたくさんあります。

そして、最後はそうはいっても「なんくるないさ〜」です。追い詰められても、辛い時があっても、根っこが折れないのは沖縄の精神があると思います。

(瀬名波氏 談)



令和3年度DV対策事業

「第63回全九州広告美術コンクール」

(公財)おきなわ女性財団では、九州広告美術業組合連合会と協力し、「第63回全九州広告美術コンクール」の作品テーマに女性や子どもに対する暴力防止への深い理解と関心を広げるため「あなたはひとりではないよ」というメッセージと共に、「パープルリボン&オレンジリボン」を取り上げました。

全九州広告美術コンクールは、出品作品を一堂に展示し、広く一般にアピールすることで、屋外広告業の技能向上を図り、都市景観の形成、地域社会の活性化に寄与し、業界に対する社会的評価の高揚に資することを目的としています。

今回のコンクールでは、九州・沖縄地域から立看板142点、造形看板11点の合計153点が出品されました。コンクール展示審査は当初、9月10日から12日に那覇市のパレットくもじ前イベント広場での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響からZoomによる初のオンラインで実施されました。審査は「メッセージ力」「表現力」「構成員力」「目的性」の4つの採点基準に「技術力」の点数を合算し、得点の高い作品を選びました。最優秀賞(国土交通大臣賞)は、石内希氏(鹿児島、㈱ブンカ巧芸社)、(公財)おきなわ女性財団理事長賞は、宮良慎弥氏(沖縄、㈱琉球広報)の作品が選出されました。

コンクールに出品された作品は、当財団へ寄贈され、そのうち約40点を沖縄県内の市町村へ無償配布し、11月12日から25日までの「女性に対する暴力をなくす運動期間」に啓発事業等で活用されました。



最優秀賞
国土交通大臣賞

石内 希氏 (鹿児島)
株式会社ブンカ巧芸社



(公財)おきなわ女性財団理事長賞

宮良 慎弥氏 (沖縄)
株式会社琉球広報

「第63回全九州広告美術コンクール」 「DVと児童虐待防止啓発パネル」の展示

沖縄県男女共同参画センターに在る 1階 エントランス

内閣府の男女共同参画推進本部は、毎年11月12日から25日(女性に対する暴力撤廃国際日)までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間と定めています。

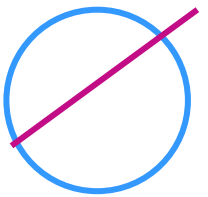
夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、加害者、被害者の間柄を問わず、女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許されるものではありません。



当財団ではこの期間に、女性に対する暴力についてみなさんと一緒に考え、暴力のない社会づくりを進めていけるよう啓発などを行っています。沖縄県男女共同参画センター「ているる」1階エントランスにて、「DV(ドメスティック・バイオレンス)」と児童虐待・DVは子どもの心も壊すもの」啓発パネルと、「第63回全九州広告美術コンクール」寄贈作品22点の展示を行いました。

この展示を通して、パープルリボン(女性に対する暴力根絶)&オレンジリボン(児童虐待防止)の認知を広めるとともに、関心を促し、暴力を許さない、見逃さない社会づくりを目指しています。

県内女性リーダーに聞く！



平良 香織 氏
株式会社フードリボン
常務取締役 統括責任者

女性の生き方は仕事だけでなく、人生の中で結婚や出産を経験する方もいてすぐバラエティに富んでいると思います。そういったことも含めてライフステージに合わせた働き方などを選択するタイミングがあると思います。

私自身がいろいろな働き方を経験した上で、大切だと感じたポイントを2つご紹介します。

1つめはモチベーションと健康管理です。自分の限界を見誤り、気づかぬところで無理をしていることがあるので、自分の体と心の声に意識的に耳を傾けることが大切です。

2つめはセルフマネジメントとタイムマネジメントです。自分の意志で人生の選択肢を自己決定しながら生きていく力。仕事や家事に追われていると自分自身の欲求や気持ちに向き合うことを後回しにしがちです。その時に自分のしたいことやどこに価値があるのか、優先にすべきことなど、置かれている状況を冷静に判断して考えるというクセをつけるのが大切です。

また、私自身フードリボンに携わり色々なプロジェクトを統括する立場から経験してきたなかで、女性リーダーに求められる大切な要素を5つ紹介します。

- ①ゴールを設定する／②メンバーを動機づける／
- ③信頼関係を築く／④問題を発見し解決する／
- ⑤結果を出し、活かす／です。

最後に、自分らしく生き生きと働くためには、自分がどうしたいかを考えるのが重要です。他者と比較しがちですが、大事なのは自分の内側を見つめることです。色んな人に色んな話を聞いて情報を得る事はもちろん大事な要素ですが、最終的には内に秘めている自分の欲求に気づくことができるのは自分しかいないと考えています。私自身はキャリアを目標に上り詰めてきたというより、自分に出来ることを積み上げてきて今の自分があります。私にとつてのキャリアは人生そのものを指しています。皆さんと一緒に私も働く女性として社会に貢献し、自分自身が胸を張って生きていけるような選択をし続けていきたいなと思います。

平良 由乃 氏

株式会社プラザハウス
代表取締役社長



プラザハウスは1954年、日本で最初のショッピングセンターとして生まれました。外国人が創業した企業を1986年に父が承継し、私は2009年5代目の社長となりました。関連会社には皆様ご存知のA&Wなどがあるファミリー企業です。よって、仕事を自分で選択するというより、与えられた環境の中で自身の存在意義を模索するのが人生でした。またそれ以上に、プラザハウスの歴史を更新するために、どんな人格、どんな個性にすれば良いか、どうすれば携わっている人たちがつづがなく生活し、働く価値を共有できるようにするか、などを考えるのが自分に与えられた課題だったように感じ

ています。

当社は現在直営店が9つ、テナントが32店舗、計41店舗のショッピングセンターです。戦後沖縄の紆余曲折、外国人から観光客へと変化する商環境に帆走してきましたが、2015年に九州最大級のイオンモールが徒歩圏内に誕生したことは大きな脅威でした。

「Power of Harmony」というメッセージを掲げ、三位一体、調和を大切にし、過去現在未来を豊かであり続けるためのトーン&マナーを直営、テナント、全体で共有するようにしています。

お客様に直接対応し、サービスに従事するスタッフを「総合感性職」と称しています。他店にあるものはないけど、ここにしかないものがある。お客様の要求に対し曖昧にならぬよう、独自のスピリッツをデザインやメディアの力を駆使しストーリーとして打ち出します。そしてそれをスタッフ、テナントの方々と共有し、コミュニケーションを取って切磋琢磨することにより、お客様に信頼していただくことができ、ファンが増えていくのではないかと思います。

「旅するように生きる」。これからもユニークなショッピングセンターであるために大切にしていることは、クリエイティブティでありダイバーシティであることです。プラザハウスでは外国人が経営しているお店も多く、スタッフの10%が外国人です。彼らはつたない言葉を使いながら伝えることに一生懸命です。それが日本人スタッフにも良い影響を与えています。誤解を生まない努力、理解する優しさが多様性に順応するダイバーシティのテーマであり、働く場として目指すところです。

「ているる」図書情報室のご案内



沖縄県男女共同参画センター「ているる」図書情報室は、女性の地位向上、男女共同参画社会づくりをめざして、女性問題に関する図書、AV資料、行政資料、県内外の女性関連施設概要、紀要、専門誌（紙）などの収集・提供を行う専門図書室です。社会環境の変化に伴い生じる女性問題の的確な把握、課題解決に向けた調査・研究の場、情報発信の場として、県民の様々な活動を支援します。 ※上記の資料だけではなく、「沖縄」に関する資料収集も行っています。



「DV(ドメスティック・バイオレンス)」とは

配偶者やパートナーによる暴力のことを言います。この暴力には「殴る・蹴る」などの身体的な暴力と「人前で怒鳴る、生活費を渡さない」などの精神的な暴力、「性的行為を強要する、中絶を強要する、避妊に協力しない」などの性的な暴力が含まれます。これらの暴力は普段の生活の場で起こるため、他の人には見つかりにくく、コロナ禍においてその被害者数は増加傾向にあります。そこでDVをもっと知るための本を3冊ご紹介します。

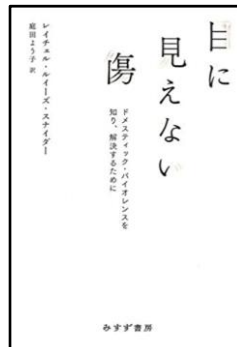
婦人保護事業から女性支援法へ — 困難に直面する女性を支える



シングルマザーの5割が新型コロナの影響をうける中、女性支援に携わる相談員からは「支援が必要なのに届かない」もどかしさを感じている。さらには行政の「支援のあり方」に疑問を感じ、行政主導の婦人保護事業の課題について分析し、人権保障型の女性支援事業への構造転換について考察する。

戒能 民江 (著)、堀 千鶴子 (著)

目に見えない傷： ドメスティック・バイオレンスを 知り、解決するために



DVは世界中で深刻な被害をもたらしている。けれどその問題の本質は理解されていない。ひとは被害者に「なぜ逃げないのか」と問うが、加害者はパートナーの日常をコントロールし、力を喪失させる。さらに制度の隙間も事態を深刻化させる。何年もかけた取材によって、DVの実態を明らかにし、解決への糸口を示した本としてアメリカで高い評価を得た1冊。

レイチェル・ルイーズ・スナイダー (著)
庭田 よう子 (翻訳)

離れたくても離れられないあの 人からの「攻撃」がなくなる本



上司、同僚、夫婦・恋人、家族、親戚、友達…もう誰にもコントロールされない！ いつも攻撃してくる人の心理を解説するとともに、離れられない事情がある身近な人からの攻撃に対処する方法を紹介する。

Joe (著)

ご利用方法

- 時間：火曜日～土曜日 9：00～20：00、日曜日 9：00～17：00
- 休室日：毎週月曜日（休館日）、毎月第1水曜日（室内整理日）、12月29日～1月3日（年末年始）
- 借りる：住所・氏名の確認できるもの（運転免許証・健康保険証・学生証）などをご持参ください。沖縄県内在住の方であればご利用できます。
- 期間：1人10冊まで、2週間
※ 雑誌は最新号以外を借りることができます。
※ 行政資料・館内ラベルの資料は室内閲覧のみになります。
- 問い合わせ：沖縄県男女共同参画センター TEL 098-866-9090 (代)

【第1回男性の家事・育児参画講座】「洗濯男子全力応援講座」

実施日：12月5日（日）
講師：岩田 美和 氏（沖縄県クリーニング業生活衛生同業組合 理事長）
場所：ていりる3階 創作室・生活実習室
内容：「洗濯」に焦点をあて、汚れとシミの違い、家庭洗濯とお店クリーニングの違い、家庭用洗剤の選び方、干し方、アイロンのかけ方、取り扱い絵表示を知る等洗濯の基本を学びました。しみ抜きでは、参加者各自で実技も行い、とてもわかりやすく今後の生活に活かしたいという声を多くいただきました。



岩田 美和 氏

【女性キャリアアップセミナー】「起業塾+（プラス）～ここから始める私の起業！」

実施日：12月18日（土）
講師：真栄城 美里 氏（沖縄県よろず支援拠点）
アドバイザー：林 玲 氏（沖縄県よろず支援拠点）
場所：ていりる3階 研修室1・2
内容：受講者は、講師による起業に必要な事柄を包括的に説明したミニ講話を聞いた後、少人数グループで自身の起業アイデアの発表、事業計画書作成ワークにチャレンジしました。受講後、「初めてのマイ事業計画を作成し、まだまだ考えることがたくさんあると思いました」、「たくさんの視点や気づきがあってよかったです」などの声が寄せられ、アットホームながらも受講者同士が良い刺激を与えあう講座となりました。



真栄城 美里 氏



【第2回相談員研修】「アタッチメント」

第1部：アタッチメントと子どもの発達 第2部：事例とともに考えるアタッチメント

実施日：12月23日（木）
講師：第1部：中尾 達馬 氏（琉球大学教育学部 准教授）
第2部：数井 みゆき 氏（茨城大学教育学部 教授）※オンライン出演
場所：沖縄県男女共同参画センター「ていりる」1階ホール
内容：「アタッチメント」とはなにか、どのように形成され、子どもの発達にどう影響するのか等の基礎を学んだ上で、事例を通して不安定なアタッチメントを持つ親子への対応等をわかりやすく解説しました。



参加者募集！

【女性人材育成事業】第2回「ていりる塾出前講座 オンライン」

【配信期間】2月7日（月）9時から2月14日（月）17時まで 【形式】YouTube（録画動画配信）
【講師】喜納 育江 氏（琉球大学国際地域創造学部 教授）
高田 朝子 氏（法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授）
【受講料】無料 【対象】女性で興味のある方（年齢不問）【定員】なし（要申込み）
【申込み締切】2月3日（木）まで

【第2回健康教室】大塚製薬株式会社共催「女性の健康週間」今こそ学ぼう！プロダクティブヘルス&ライツ 沖縄県における“女性と暴力”の問題を語る～自分の人生は、もっと自分で決められる～

【日時】2月27日（日）14：00～16：10 【形式】YouTube LIVE配信による生中継オンラインセミナー
【講師】「女性ホルモンとエクオール」 銘苅 桂子 氏（琉球大学病院周産母子センター 教授、
病院長補佐（男女共同参画・医師の働き方改革担当））
「性暴力とわたしたち」 三浦 耕子 氏（沖縄県立中部病院 婦人科）
「子どもを暴力から護るために」 後野 哲彦 氏（沖縄県中央児童相談所 所長）
「若年妊婦調査と「おにわ」の取り組み」 上間 陽子 氏（琉球大学教育学研究科 教授）
「『負の連鎖』をこえて」 前田 比呂也 氏（美術家、浦添市立神森中学校教諭）
【受講料】無料 【対象】関心のある方、年齢不問 【定員】なし（要申込み）
【申込み締切】2月24日（木）まで
大塚製薬株式会社まで申込み FAX：096-324-6315 Mail：jyoseikenko_okinawa@otsuka.jp

【第1回コミュニケーション講座】「わじわじーがなくなるまほうの話 感情コントロール講座」

実施日：10月30日（土）
 講師：山本 京子氏（株式会社オーブグリーン 代表取締役）
 場所：Zoomを利用したオンライン配信
 内容：アンガーマネジメントは何かということの説明し、怒りの原因と対処方について身近にある事例から学びました。参加者からは、先生と一緒に笑って共感してくれたので楽しく学べた、分かりやすかったなど多くの声をいただきました。



山本 京子氏

【第1回健康教室】「免疫力をアップさせよう！ロコモ体操」

実施日：10月30日（土）
 講師：永淵 悦子氏（ピラティス講師・介護予防運動指導員）
 場所：ていりる1階 ホール
 内容：椅子やヨガマット使用し、ストレッチを行いながら自身の柔軟性を確認し、負担がかかりにくいトレーニングを行いました。筋力アップや関節可動域を広げたりというのは大事ですが、「みなさんと楽しく笑う時間を過ごすこと」も免疫力につながると話しました。



永淵 悦子氏



【法律講座】「『離婚』に関する法律の基礎講座～離婚を考えた時に知っておきたいこと～」

実施日：10月30日（土）
 講師：山城 圭氏
 （あらた総合法律事務所 弁護士）
 場所：ていりる3階 研修室1・2
 内容：離婚に必要な法的手続きや財産分与・親権・養育費・面会交流等といった法律知識を学びました。参加者からは、てきぱきとした説明が分かりやすかった・山城先生の言葉に背中をおしてもらえたなど、多くの声をいただきました。



山城 圭氏



【第2回男性の家事・育児参画講座】「お買い物名人になろう」

実施日：11月6日（土）
 講師：岸本 トモ子氏（沖縄県金融広報委員会 金融広報アドバイザー）
 大城 人志氏（沖縄県金融広報委員会 金融広報アドバイザー）
 場所：ていりる3階 創作室・生活実習室
 内容：生活に身近な「お金」について、「おつかいすごろく」や「貯金箱づくり」等のゲームを通し、「お金」の大切さや判断力、知識を養い、父と子でいっしょに「お金」について学び、考えました。参加者からは、子どもと楽しい時間を共有することができて嬉しいといった声をいただきました。



岸本 トモ子氏

【女性人材育成事業】ていりる塾出前講座inうるま市

実施日：11月19日（金）
 講師：村山 由香里氏（リムリムラボ代表）／ 高田 朝子氏（法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授）
 幸喜 穂乃氏（合同会社Happy Joy 代表 人材育成コンサルタント）
 場所：うるま市 2階 会議室
 内容：17名の受講生が地域で活躍している先輩のお話やワークなどを通し、ジェnder&ダイバーシティやロジカル&コミュニケーションなどを学びました。参加者からは、色々な角度からの貴重な講義を聴くことができとても楽しかった、勉強になったといった声をいただきました。

【女性起業塾】「センパイ起業家から聞く！想いをカタチに、私らしい起業のヒント」

実施日：12月4日（土）
 講師：茶谷 千秋氏（南ノ島の福朗まん）／ 大城 夕紀氏（ペタルーナ オキナワアロマ）
 喜屋武 文子氏（きたなか荘弁当）
 場所：ていりる3階 研修室1・2
 内容：県内で起業をしている3名の先輩起業家を講師に招き、起業に関するライフストーリーを交えた講話、交流会を通じ、受講生の起業の一步を支援しました。受講後、「起業するまでの流れや、様々な失敗なども知ることができました」など多くの声が寄せられました。



～ているる相談室～

公益財団法人おきなわ女性財団では相談窓口を開設しています。
相談料は無料(通話料は相談者負担)、秘密(プライバシー)を固く守ります。

	女性相談 TEL : 098-868-4010	国際女性相談 TEL : 098-880-3402	にじいろ相談 TEL : 098-880-8434	男性相談 TEL : 098-868-4011
日時	火曜～土曜 10:00～17:00		土曜のみ 10:00～17:00	日曜と月曜 10:00～16:00
相談方法	電話／面接(面接は予約が必要です。) 女性からの相談を女性の相談員がお受けします。		電話／面接 (面接は予約が必要です。)	電話 男性からの相談を男性の相談員がお受けします。 ※相談は、電話相談のみとなります。
	特別相談(予約が必要です。) 専門家による面接相談 ◆法律相談(月2回) ◆こころの健康相談(月1回)	特別相談(予約が必要です。) 専門家による面接相談 ◆国際法律相談(週1回)		
相談内容	女性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談をお受けします。	外国人との結婚・離婚など様々な問題に関する相談をお受けします。	セクシャリティに関わる悩みや困りごとをご本人だけでなく、家族や周囲の方からのご相談もお受けします。	男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談を電話でお受けします。
休み	毎週日曜と月曜、年末年始(12/29～1/3)		年末年始(12/29～1/3)	祝日にあたる月曜、年末年始(12/29～1/3)

～賛助会員入会・継続のご案内～

当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださるみなさまのご入会をお待ちしております。
頂いた会費は各種事業などに活用させていただきます。

- 特典：情報誌「ているるちゃんがいっく！」や講演会・講座情報などを文書にてお届けいたします。
講演会や講座等へ優先的に参加、当財団が主催する有料講座は会員価格で受講できます。
- 年会費：個人会員：3,000円 学生会員：2,000円 団体会員：10,000円
※新規は、入会時期(申込日)により金額が異なります。

(公財)おきなわ女性財団(098-868-3717)までお問合せください。

(公財)おきなわ女性財団への寄付のご報告

「金秀グループ創業74周年記念チャリティーゴルフ大会」の収益金から寄付がありました。

令和3年11月2日に金秀グループ本社へ赴き、感謝状を贈呈いたしました。頂いた寄付金は、当財団の公益事業のために大切にに使わせていただきます。



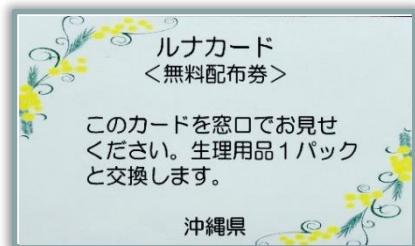
【中央左】おきなわ女性財団 理事長 大城 貴代子
【左】おきなわ女性財団 主査 山田 祥子

【中央右】金秀グループ会長 呉屋 守将氏
【右】株式会社金秀本社 執行役員 呉屋 暹氏

生理用品の無償配布について

ルナカード
配布中です

カードをお取りになり
1階窓口にて、職員にお声がけください。



沖縄県男女共同参画センター「ているる」内に置いてあります。

発行月：令和4年1月
表紙写真 大屋 玲奈

発行：公益財団法人おきなわ女性財団
TEL: 098-868-3717 FAX: 098-863-8662
HP: <https://www.okinawajosei.org/>

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体
TEL: 098-866-9090 FAX: 098-866-9088
HP: <http://www.tiruru.or.jp/>